

生涯学習マナビ通信 No.8

『名取市図書館』の出前講座から、「震災ニモマケズ、コロナニモマケズ。
～読書活動を推進する取り組み～」

今回は、10月27日からスタートした読書週間にちなみ、名取市図書館の業務について、日ごろ疑問に思っていることを図書館の皆さんに伺いましたのでお知らせします♪

Q コロナ禍の緊急事態宣言などで影響があったと思いますが、最近の来館者、利用者の状況はいかがですか？

図：コロナ禍で「お家時間」が増えたことからか、本や視聴覚資料の貸出数は増えていきます。今年度4月から9月までの貸出数は、213,883点で、昨年の同時期と比較すると50,000点以上増えました。コロナの影響で、休館したり利用制限を行ったりしたため、来館者が減った時期もありましたが、現在はかなり戻っています。土日は、家族連れや勉強をする学生さんなど、**1日1,000人以上の方が来館**しています。

Q 図書館内に魅力的なカフェ“モーツァルト”が入っていますが、現在のランチメニューとか教えてください！割引とかはありますか？

図：“カフェ モーツァルト コリイカ”では、ランチメニューで2、3種類の Pasta やご飯類を提供しています。私が好きなのは「魚介のジェノベーゼパスタ」と「ベトナムご飯」です♪ また、不定期ですが、絵本とコラボしたメニューが出ることも。先月は、『ハンバーグハンバーグ』（武田美穂・作 ほるぷ出版）とコラボしたオリジナルハンバーグがありました。また、地元食材を使った「**しらす丼**」もあります。毎月開催している「ナイトライブラリー」では、ランチやドリンクの割引券を配布することもありますので、ぜひご参加ください。

Q 図書館には熱心に頑張っているボランティアさんがたくさんいますが、現在、どのようなボランティアグループがありますか？また、ボランティアに入りたい場合はどのようにすればいいですか？

図：図書館には、図書館を応援してくれる団体「**名取市図書館友の会・なとと**」があります。図書館のボランティアは「なとと」の活動の一環として行われています。グループとしては、「本の返却と書架整理」「ブックコート」「本の修理」「新聞記事スクラップ」「布絵本の制作」「おはなし」などがあります。また、役員の人たちが中心となって、様々なイベントの企画・運営などを行っています。活動を行いたい場合は、それぞれのグループの代表に繋がりますので、図書館にお気軽にお問い合わせください。

Q 震災から10年が経過しました。この10年を振り返って、どういう10年でしたか？

図：震災から図書館はひたすらに走ってきた10年だったと感じています。大震災では、それまで使っていた建物が壊れ、建物を失うという経験をしました。実に多くの人たちの支援で、木造の「どんぐり子ども図書室」「どんぐり・アンみんなの図書室」が完成し、平成25年5月から震災前とほぼ同様のサービスができるようになりました。震災から**2年であそこまで復旧できたのは、まさに奇跡**のようでしたが、当時はとても長い時間を感じました。その後、新図書館建設の話が持ち上がり、新図書館がオープンする平成30年12月まで、通常業務と新館建設業務を夢中で行ってきました。オープンしてからは、生まれ変わった「名取市図書館」を一人でも多くの市民に利用してもらいたいという思いで、友の会「なとと」と一緒に頑張っています。

Q 震災では、全国から様々な方々の支援・協力をいただきましたが、特に印象深い人との出会いや出来事を教えてください。

図：震災直後の4月に来てくれた、**石狩市民図書館**を中心にした石狩市の皆さんが印象に残っています。石狩市とはその後も交流を深め、平成25年10月に友好図書館の協定を結びました。現在も、郷土資料のやり取りや交流事業を続けています。また、震災後すぐにネット上に立ち上がった **saveMLAK** (博物館・図書館・文書館・公民館の救援サイト) の代表、**岡本真さん**にも大変お世話になりました。「どんぐり図書室」は、saveMLAKの仲介支援があっただけでできた建物です。岡本さんには、その後、新図書館建設アドバイザーにもなっていました。

Q 名取市図書館のおススメポイントを教えてください！

図：3階の情報発信コーナー「**名取の宝ばこ**」コーナーがおススメです。郷土資料の書架には、展示棚が組み込まれ、本と現物の博物資料が融合した棚になっています。展示棚は、歴史民俗資料館の協力で土器などを展示し、入れ替えも行っています。このコーナーで興味を持たれた方は、ぜひ資料館にも足を運んでいただきたいです。また、2階の児童コーナーも楽しいですよ。大きな**赤い屋根のお家**がシンボルです。

Q 最後に、これからの図書館をどのようにしていきたいですか？これからの目標や展望などを教えてください！

図：名取市図書館が、市民の暮らしに役に立ち、楽しくて憩いの場にもなれるような図書館づくりをしていきたいと思っています。一人でも多くの方に図書館を使ってもらえるよう、これからも「なとと」と一緒に様々なイベントを企画したり、積極的にPR活動を行ってまいります。



11月3日(水・文化の日)には「**名取市子ども読書活動推進事業・Let's 読書読**」、6日(土)には「**名取市図書館友の会・なとと設立3周年記念 小野和子さん講演会**」を開催します。また、26日(金)のナイトライブラリーは、朝ドラ「おかえりモネ」にも登場した登米町森林組合の竹中雅治氏と建築家の杉本洋文氏をゲストに、「**木づかしのまちづくり**」というテーマで話をさせていただきます。講演会もナイトライブラリーも**申し込みが必須**です。皆様のお申し込みをお待ちしています。(「**Let's 読書読**」は締め切りました)
詳しくは、図書館ホームページや「ためまっぷ」でご確認ください。

《名取市図書館》

からのお知らせ

<参考>

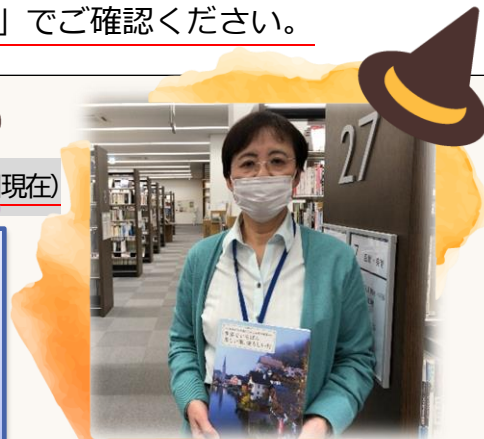
令和2年度入館者数： 205,753名

オープンからの来館者数 716,671名(令和3年10月26日現在)

今回は、『名取市図書館』のこの10年の歩みと、「なとと」と先を見た図書館づくりなどについて教えていただきました！

コロナ禍でも本はいつでもそばにいてくれる、友達みたいな存在として、ぜひ図書館をご利用ください♪

本は友達！ アミーゴ・アミーガ！



話し手：名取市図書館 柴崎館長